

はじめに

本学日本語教育センターは、2018年度より、新しいタイプの留学生受け入れに関連するテーマを取り上げて、シンポジウムを開催してきた。来年度の受け入れ開始を控えた今年度は、外国語教育研究センターとの共催で「グローバル化時代の言語教育を考えるーグローバル・コンピテンス育成の視点からー」を企画・開催した。言語教育をグローバル・コンピテンスの育成の観点から議論することで、外国語習得以外の教育的価値があることをあらためて確認することを狙いとした。

この企画は、言語教育の一部に「やさしい日本語」を位置づけた点にも特徴がある。大学の国際化は、学生間の授業内外での交流がしっかりと行われ、学生がサポートしあうとともに、その経験からたくさんの刺激を得て成長することに意義がある。2022年度に全学共通カリキュラムの科目として開講する「やさしい日本語」がキーワードとする科目は、日本語母語の学生、日本語上級レベルの学生が「やさしい日本語」の社会的意義を学び、実践を繰り返しながら習得するとともに、グローバル・コンピテンスを高めることを目指す。本学が、国際化を推進する科目として、外国語科目に加えて、「やさしい日本語」を追加することの意義を確認する機会ともなった。

本企画の参加は、関係者以外に、学内の教職員をはじめ、学生、学外の方で50名であった。ご登壇くださった皆様、またご視聴くださった皆様に厚くお礼申し上げます。

日本語教育センター長／異文化コミュニケーション学部教授

丸山 千歌